



新入学生外オリエンテーション

4月10日入学した新入生全員を対象として「新入学生外オリエンテーション」が今年も若手山青年の家で4月23日(金)24日(土)の1泊2日で開催された。

これは新入生が早く大学生活に馴染めるように、また学生同士や教職員との交流を深めようと企画されているもので、予め計画されていたブログ上に添って行われた。

今回の行事の新しい試みとして、初日の午後に若手県警察本部の生活安全企画課より講師をお招きして、「学生生活の安全対策について」というテーマで最新問題化している携帯電話に関わることや、キャッチセールスなどの悪徳商法から自分の身を守る方法などについて90分間にわたり講話があり全員が熱心に聞き入った。



中国留学生

教養演習旅行

5月12日(水)今年も快晴に恵まれ、午前9時に7台の観光バスにコースごとに分乗した新入生達は、元気に教養演習旅行に出発した。今年のコースは、事前のアンケート調査の結果によって、Aコース「あき開き・小岩井農場と盛岡わんこそばコース」...



韓国留学生

留学生ふれあい体験

地域住民との交流を通じて国際的相互理解を深めるために、本学の留学生たちは、北北青年会議所が主催する「ひらた舟」の乗船イベントに参加して、北上市の市民団体や地域の小学生及びインテ、フランス、韓国等6カ国から来日した人々約100人と一緒に楽しい一日(6月6日(日))を過ごした。

留学生たちは、青年会議所のアシスタントとして、班編成された小学生たちのリーダーを担任して、蒙古語の挨拶を教えたり、小学生からのいろいろな質問に答えたり、または各自の留学生活についての感想を語りあっていた。

「ひらた舟」の乗船イベントは、東北随一の大河である北上川を舞台に藩政時代に活躍した「ひらた」の乗り心地を肌で感じると同時に日本の風習に触れながら、勤勉且つ素朴な東北地方の人情の良さを一層深く感じた。

内モンゴは内陸なので初めて舟に乗る留学生がほとんど。緑の山々に囲まれた中を流れる豊かな北上川のすばらしさが、参加者の心に焼きついたようだ。「私たちは若いですから、日本で精一杯勉強して日本の最先端な技術・学問を身に付け、将来国に帰って積極的に日中友好及び国際事業に力を入れ貢献したい」と留学生は語っていた。

花巻市の観光をPRする、2004年度「はなまきイーハートブレイド」3人が決まり、そのうちの1人に本学4年生の松田歩さんが選ばれた。本学から選ばれたのは、昨年に引き続き2目となる。

6月3日、選ばれた3人は、花巻市役所において観光協会から委嘱状を受け、来年5月末までの1年間花巻のPRに務めることになる。松田さんは、「昨年のイーハートブレイドが友人で、楽しそうだったから。」と応募した理由を述べていた。

17時から、若手大学中央食堂に場所を変

特集 富士大 活躍NEWS

研究者活動・成果

『2割司法(完結版)』本人訴訟によるライオンズ・マンション電流障害訴訟体験記録 近代文芸社 2004年3月刊 定価1,500円(税込)

教授 中野 進



訪韓研修を終えて

岩井 敬祐 平成16年3月卒業

訪韓研修に参加し韓国に着いた当初は、隣国でありながら全く違った文化を持つ国であると思っていたため、どのような人たちが暮らしているのだろうと不安でした。しかし、韓国の方々と接している内に、博物館内に展示されている土器や建物の造りなど日本と共通しているものがあるのだと感じ、親近感を持ちました。

この研修で特に印象に残っているのが、韓国の学生の家での2泊3日のホームステイでした。これは行く前から、私が楽しみにしていたものであると同時に、とても不安でもありました。しかし、ホストファミリーであるジェイは紳士的に私を迎えてくれ、韓国語が話せない私に氣を遣ってくれたことに感謝しています。

ホームステイでは、韓国の生活スタイルを身近に感じることができ、韓国と日本の文化の違いについて肌で感じることができました。しかし、私は韓国の習慣に因ることはありませんでした。そんな私に対しジェイは積極的に接してくれ、韓国のお寺や、漢方薬の市場など、日本にはないさまざまな場所へ案内してくれ、楽しい2泊3日を過ごすことができました。

この研修では2ヶ所の大学との交流があり、韓国の学生は我々を暖かく迎えてくれ、とても友好的に接してくれました。また、韓国の学生は日本語がとてうまく、日本の文化も勉強しているため、歴史、食べ物、さらには日本のアニメーションにも詳しくは驚かされました。学園祭では日本のお好み焼きを焼いて売っていたそうで、とてもおいしくできてきたと語っていました。

この研修に参加して感じたことは、私自身が「井の中の蛙」だったことです。それは、韓国と北朝鮮は今も冷戦状態であり、まだ終戦を迎えたわけではないということを変更して知り、平和ボケをしている私にとって自分自身がとても小さな存在に思えたからです。この経験を生かし、社会に出ている今強く生きていこうと思います。また、この研修に参加したメンバーもいろいろな考えを持っていた方だったため、とても楽しい10日間となりました。



韓国留学生

「本学初 予備自衛官補に採用」

山田和利(4年)

山田和利君(経済学部経営法学科4年)は、本学で初めて自衛隊の「予備自衛官補」に採用された。この制度は、3年目であるが、山田君は一般公募に応募し、東北全体の採用枠15人に対し、県内で県立大生とともに合格した。

自衛隊若手地方連絡部本部(盛岡市)で7月1日付で辞令交付され、改めて同月8日、本学にて辞令交付式が行われた。この交付式では、末永仁同連絡部募集課長らが立ち会った。山田君は、本学の就職部長の吉岡欽也経済学部教授から辞令を受けとった。学長は、「尊敬される自衛官を目指し、本学のトップバッターとして後輩がつづくよう頑張って」と激励。山田君は、「人のために働く自衛官になりたいので、責任をもって頑張る」と意欲を語った。

予備自衛官補の採用は、県内で14年に1人、15年に4人。教育訓練は3年以内に50日間として宮城県多賀城市で実施される。履修時期を選択でき、学生の身分のまま17年1月から訓練を受け、社会人となっても社会貢献できる予備自衛官に必要な教育訓練に入る。



予備自衛官補

東北三二国体代表選手29名(7種目)

第31回東北総合体育大会へ本学より各県の代表として

Table listing sports teams and athletes: 柔道部 (Fujita, Matsuda, etc.), バスケ部 (Kobayashi, etc.), ホッケー部 (Sato, etc.), サッカー部 (Ishikawa, etc.), 卓球部 (Taniguchi, etc.), 陸上競技部 (Mori, etc.).



教職員 グランドホッケー成年男子監督 西田範次 同成年男子選手兼成年女子コーチ 藤原研樹 卓球成年男子監督 小田桐憲仁 ハンドボール成年男子選手 樋下孔士 陸上競技女子選手 千葉夕里

「ジュニアアジアカップ」日本代表に選ばれる

ソフトボール部 佐々木 瞳さん(1年) 佐々木さんは、平成16年5月25日～31日韓国ソウルに派遣された。



優勝 日本 打点王獲得 大会出場後の感想・今後の抱負 「自分なんか選出されてよかったのか?という驚きの中、大会は5月25日～31日まで韓国のソウルで行われました。国際試合は初めてで自分がどれだけのプレーができるかという期待と不安の中で私の役割は4番1塁手。チームメイト一人一人も選出されてきただけに上手い人ばかりでした。そんな中、自分のやるべき事をしっかりとやろうと決めて試合に臨みました。苦しい試合ながらも結果は優勝。金メダルが胸に飾られ、そして個人賞の発表。私は打点王を獲得しました。この嬉しい知らせは、とてもうれしかったです。このような国際舞台を経験したことは、これからの私にとっての財産です。そして私を支えて下さった方々に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。これからこの結果に満足する事なく更なる向上を目指して頑張ります。」

ホッケー部 佐藤 優君(3年)

佐藤優君は、平成16年4月20日～30日、パキスタン カラチに派遣された。



本大会は、アジアから10チームの参加で行われ、5チームずつのプールで予選リーグを行い、日本はチャイニーズタイペイ・韓国・パキスタン・シンガポールと同じAプールに入った。

大会出場後の感想・今後の抱負

「今回、21歳以下の日本代表に選ばれ、アジアカップに出場し、各チームの勝利への執念を感じ、特にインド対パキスタンの決勝戦は鬼気迫るものがあった。自分もあの試合に対する姿勢を見習い、またそのことをチームに伝え、全員が全国大会で対戦する強豪にも怯まず、立ち向かう姿勢を出しているチームにしていきたい。」

また、夏の全日本王座・秋のインカレ

にて良い成績を残し、北京オリンピック出場を目指す日本代表入りを目指したい。その為にもトレーニングに励むとともに、富士大学の代表、日本の代表として恥ずかしくないような人間へと成長していきたい。」

貸借対照表(平成16年3月31日現在)

Balance Sheet table with columns for Assets (資産) and Liabilities (負債). Total assets and liabilities are 7,305,207.

ペイオフ解禁に対応して、資金をより安全・有利に運用するため、高格付の社債を保有しています。

「長期借入金」短期借入金」の科目がありません。学校法人富士大学は無借入金経営です。

16年度の入学金、授業料料などです。

「基本金」は、企業会計の「資本金」にあたるものですが、同じではありません。

第1号基本金 教育研究用の固定資産を購入すると同額の基本金を積み必要があります。

第4号基本金 恒常的に保持すべき資金として積み必要がある基本金です。

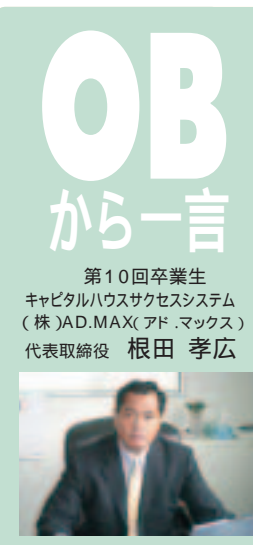
平成15年度(平成15年4月1日～平成16年3月31日)資金収支計算書

Income Statement table showing income and expenses. Total income is 3,444,350 and total expense is 3,444,350.

平成15年度(平成15年4月1日～平成16年3月31日)消費収支計算書

Statement of Expenses table showing consumption income and expenses. Total consumption income is 1,585,424 and total consumption expense is 1,585,424.

ペイオフ解禁に対応して購入した安全・有利な有価証券(公社債)の増加額です。



代表取締役 根田 孝広

母校が原点

私は現在49歳で、建築関係の会社を営んでいます。大学を卒業しては27年になりますが、いくつになっても母校はかけがえのないものだと感じています。私にとって大学生の時代は「人生でもっとも楽しく、自分らしく生きていた時代だった」とこの年になって思っています。4年間、ただ歩くことだけに集中し、たった1秒のタイムを縮めることに情熱を傾けたことを心から愛おしく思うのです。当時は奥州大学から富士大学への移行期でもあり、今のような8階建ての学舎や巨大な室内運動場もありませんでした。大学を訪ねる度に施設が充実して本当にうらやましい限りですが、当時は大学に行って好きなことを思いっきりやるだけで十分でした。

ところで、富士大学で本当によかったと感じていることはゼミの教授に恵まれたことでした。学習した内容は忘却の彼方ですが、ゼミの込山教授から立ち振る舞い、義理、人情をきっちりたたき込まれました。当時はついぶん変わった指導方法だなと思いましたが、就職してその意義はわかりました。いろいろなことを学んだ母校が今の私の原点になりました。

さて、私は卒業後、三つの職業を経験した後には35歳で独立し、現在に至っています。業種は一般建築で、個人住宅を主体に宅地造成や不動産の業務をしています。今年で創業16年になりますが、何年たっても初心を忘れては挑戦し続けています。時代は長引く不況で経営上厳しいものがありますが、ピンチはチャンスで自分のことを信じてやり続けること